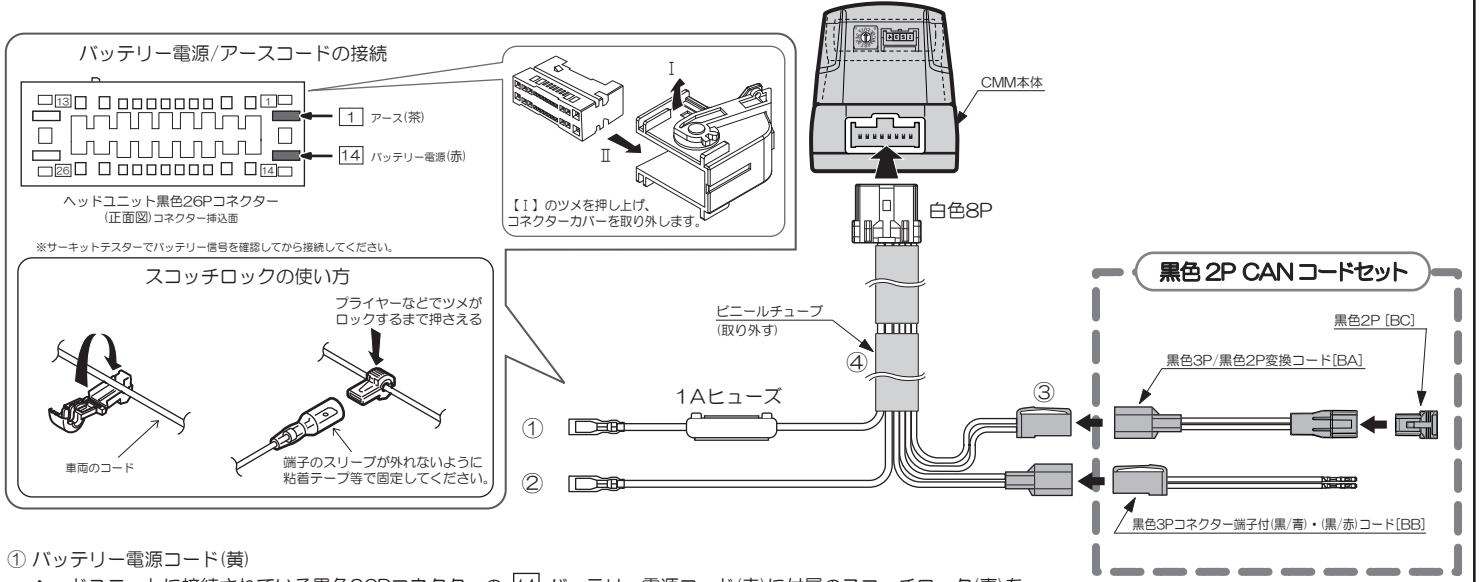


# 取付・接続のしかた その2 [MBH9A] GLC(X253) MC 後で車両側コードを加工せずに接続する場合

## ⚠ 注意

- 光ファイバコードを傷つけたり、折り曲げたりして損傷しないよう、配線作業をしてください。損傷した場合、車両の故障・破損の原因になります。
- CMM本体と白色8Pコネクターの接続は、他のすべての接続が終わってから、バッテリーをつなぐ直前に行ってください。

## 接続概要図と電源コードの接続 [MBH9A] GLC(X253) MC 後



- ① バッテリー電源コード(黄)  
ヘッドユニットに接続されている黒色26Pコネクターの 14 バッテリー電源コード(赤)に付属のスコッチロック(青)を使用して接続します。[上図参照] ※ サーキットテスターでバッテリー信号を確認してから接続してください。
- ② アースコード(黒)  
ヘッドユニットに接続されている黒色26Pコネクターの 1 アースコード(茶)に付属のスコッチロック(青)を使用して接続します。[上図参照]
- ③ 黒色3P CANコード  
黒色2P CANコードセットを使用して接続します。[詳しくは下図“取付概要図と車両コードとの接続”をご覧ください]
- ④ ビニールチューブ カッター等を使用して黒色3Pコネクター側のビニールチューブを取り外します。

## 取付概要図と車両コードとの接続 [MBH9A] GLC(X253) MC 後

- ① 図1を参照し、ヘッドユニット黒色26Pコネクターとユーザ・インタフェース CAN(白)内、白色2Pコネクターの導通確認をおこないます。
- ② 図2を参照し、①の作業で導通があった白色2Pコネクター【A】のロック板を押し上げます。
- ③ 各ソケットピンのツメ【B】を先の細いマイナスドライバーなどで押さえながら、車両のコード2本[端子番号とコード色は図を参照]をコネクターから抜きます。
- ④ ③で外した車両のコードが入っていた位置[図を参照]に、付属の黒色3Pコネクター端子付(黒/青)・(黒/赤)コード[BB] 2本を差し込みます。入れ替えが終わったらロック板を押し込み、車両側に取り付けます。
- ⑤ ③で外した車両のコードを付属の黒色2P[BC]に差し込みます。※端子はツメを下側にして差し込みます。
- ⑥ ⑤で差し込んだ黒色2P[BC] を黒色3P/黒色2P変換コード[BA] に接続します。
- ⑦ 各コネクターとメインハーネスからの黒色3Pコネクターを接続します。

**注意** 白色2Pコネクターは同色・同形状のコネクターが複数あります。本製品のコードを挿し込む前に必ず導通確認をしてから作業をおこなってください。

